

補助事業番号 公－7

補助事業名 平成19年度 青少年カウンセラーの講習補助事業

補助事業者名 社団法人 日本教育会

## 1, 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

#### ◇目的

当法人は、教育職員および教育関係者によって組織されている職能団体として、国家社会の進展に寄与するとともに、国際社会に貢献する心身ともに健全な青少年の育成を目的としている。この目的達成のために、その指導者である教育職員、青少年指導者、保護者等の資質向上を図ることが重要と考え、その一環として青少年の健全育成に携わる者を対象に、特別事業夏期研修「学校心理カウンセラー研修講座」を開催する。

#### ◇事業の意義・背景

近年、学習不適應、学校不適應、不登校、いじめ、青少年の非行・自殺、また、引きこもりやニートなど、非社会的な行動を示す青少年の存在、「居場所」を求める児童・生徒の増加など心のケアや教育相談を必要とする問題が多発している。

例えば、不登校児童・生徒に視点を当てたとき、文部科学省による平成17年度学校基本調査では、不登校の児童・生徒数は12万2255人で4年連続減少している。中学生は不登校の割合が「36人に1人」程度の2.75%と4年ぶりに上昇に転じたが、小中学生全体では「89人に1人」程度の1.13%と4年連続低下している。同調査は、「スクールカウンセラーによる指導や、家庭への働きかけ」と学校や教育委員会の取り組みの成果としている。不登校児童・生徒が登校できるようになった効果的な学校の措置として、

- ① 家庭訪問等による指導・援助
- ② 登校を促す電話・出迎え
- ③ 不登校問題についての研修会による教師の共通理解
- ④ スクールカウンセラー等の専門的指導

を挙げている。

こうした指摘は、カウンセリングの手法を学んだ人々の努力が結実した証左であ

り、青少年に対する心理カウンセラーの役割が特に重視されていることを示し、これからもカウンセリングの技能等を保持する者の育成が急務とされている。

こうした社会の要望に応えるため「学校心理カウンセラー研修講座」の実施により、教育関係職員、保護者及び社会教育関係者等青少年の健全育成に携わる者の資質向上を図ることができる。

このような現状に鑑み、青少年の心のケアにかかわるカウンセラーの養成、カウンセリング・マインドをもつ教育職員の育成がますます必要となっている。また、長期休業中の教員の研修並びに平成 19 年度から始まった「特別支援教育」に関連し、ますますこの講座のもつ意味は大きい。そのことは「学校心理カウンセラー研修講座」の参加希望者が増加していることから推測できる。

カウンセリング等に関する理論、実技等を習得し、ケア等を求める児童・生徒、保護者等への対応を有効に行える人材の育成ができ、講座参加者が習得した理論・技術を広く職場に普及することができた。

本事業は、心理学の各種理論を偏りなく紹介し、参加者が主体的に研修できるよう構成しているので、他の事業体による講座への橋渡しが期待できるとともに、青少年の心のケアに関する事業は、今後より一層の需要が見込まれることから、最新の研究理論と実践的な実技による研修の場を整備しなくてはならないと考えている。

平成 20 年度においては、北海道札幌市において開催する。

## (2) 実施内容

① 事業項目名 第 15 回 学校心理カウンセラー研修講座

### ② 事業の概要

以下により、第 15 回学校心理カウンセラー研修講座を実施する。

i, 名称 第 15 回学校心理カウンセラー研修講座

ii, 実施日 平成 19 年 8 月 7 日（火）～9 日（木）

iii, 実施場所 広島市まちづくり市民交流プラザ

iv, 主催 社団法人日本教育会

v, 参加資格 (社) 日本教育会会員及び, (社) 日本教育会支部長又は校長が推薦する者

vi, 内 容 カウンセリング等に関する理論, 演習, 実技

vii, 定 員 150 名

viii, テーマ及び講師

○「オリエンテーションーカウンセリングのさまざまな立場」

- ・ 今日のカウンセリングのさまざまな技法が用いられている。ここでは, その背景となる理論について概観する。

講師 (社) 日本教育会名誉会長・文学博士 辰野 千壽

○「青少年の意欲を育む」

- ・ 学ぶ意欲はやがて働く意欲へと発達していく。この過程とともに学ぶ意欲の育て方について説明する。

講師 筑波大学大学院教授 櫻井 茂男

○「構成的グループエンカウターの実際」

- ・ 管理職が使う人間関係作りの実際としての構成的グループエンカウターを, 体験を通して学び合う。

講師 東京聖栄大学准教授 岡田 弘

○「チーム援助の作り方, 進め方, 活かし方」

- ・ 子供の多様な苦戦を援助するための, 教師・保護者・カウンセラー等のチーム作りとチーム援助の実践を学ぶ。

講師 筑波大学大学院教授 石隈 利紀

○「ソーシャルスキルトレーニングの理論と実際」

- ・ ソーシャルスキルの視点から考案された実践プログラム (SST と VLF) を理論と実践の双方から説明する。

講師 法政大学教授 渡辺 弥生

○「学校におけるカウンセリングの実際」

- ・ 不登校を減少させた数多くの学校の実践を紹介し、全教職員に求められるカウンセリング技量について講義する。

講師 東京学芸大学教授 小林 正幸

○「閉講の挨拶・修了証交付」

(社) 日本教育会会長 水上 忠

ix, その他 参加費, 交通費, 宿泊費等は参加者負担

## 2, 予想される事業実施効果

青少年にかかわっての問題（学習不適應，学校不適應，いじめ，自殺，非行等）の多発や，平成19年度から始まった特別支援教育が実施されている中で，青少年に対する心のケアや教育相談の重要性はますます高まっている。その状況下で，カウンセリングの技能等を保持する者の育成は急務である。本会のこの事業の実施により，教育関係職員，保護者及び社会教育関係者等，青少年の健全育成に携わる者の資質向上を図ることは意義深いものがある。

例えば，平成19年度の本事業は，参加申し込み142名に対し137名が出席し（出席率96.5%），参加者の居住地は北海道から鹿児島までの，16道県に及んだ。

講座終了直後のアンケートによれば，参加して「満足し，今後の業務遂行に役立つ」との回答が123名（提出者123名）であったことから，当初の目的をはるかに大きく上回って達成できたと判断する。

## 3, 本事業により作成した印刷物等

- |           |         |
|-----------|---------|
| (1) 研修会要項 | 1, 500枚 |
| (2) レジメ   | 200部    |

#### 4, 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人 日本教育会 (ニホンキョウイクカイ)

住 所： 〒113-0034  
東京都文京区湯島 1-5-28 ナーベルお茶の水

代表者： 会 長 水 上 忠 (ミナカミ タダシ)

担当部署： 社団法人 日本教育会 事務局 (シャダンハウジン ニホンキョウイクカイ ジムキョク)

担当者名： 事務局長 森 正樹 (モリ マサキ)

電話番号： 03-5803-9707

F A X : 03-5803-9708

E - m a i l : z-nkk@mua.biglobe.ne.jp

U R L : <http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~kyouikuk/>